

## 記載例

### 【別紙】

#### 1 森林整備の実績（※<sup>1</sup>前年度）

業務の内容	契約金額	契約件数
※ <sup>4</sup> 森林整備 (簡易な施設を含む)	※ <sup>5</sup> 千円  1 2 3, 4 5 6	件  1 5

- 1 前年度とは、届出書の提出日が属する県の会計年度（4月1日～翌年3月31日）の直前の県の会計年度1年間をいいます。
- 2 前年度に完成し、引き渡しを行った森林整備の最終契約額の合計を記入して下さい。
- 3 国、県、市町、(公社)兵庫みどり公社、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター（旧緑資源機構）が発注した森林整備工事の実績の合計を記入して下さい。
- 4 森林整備とは、森林で行う地ごしらえ、植栽、下刈り、施肥（追肥を含む）、除伐、間伐、枝落とし等をいいます。簡易な施設とは、森林で施工する獣害防止柵、柵工、筋工、階段工、歩道等をいいます。  
街路や公園内での森林整備は含みません。
- 5 金額は千円単位で記入して下さい。（千円未満切り捨て）

## 2 主な森林整備の実績一覧表（前年度）

発注者名	契約業務名	業務の場所	主な業務内容	契約額	契約年月日
(記入例) 兵庫県	保育事業 保安林改良事業	〇〇市 〇〇町	下刈り 本数調整伐	千円 12,000	R4. 7. 12
(記入例) (公社) ひょうご農林機構	里山防災林整備	〇〇市 〇〇町	獣害防止柵 木柵	5,000	R4. 10. 20

- 1 前年度とは、届出書の提出日が属する県の会計年度（4月1日～翌年3月31日）の直前の県の会計年度1年間をいいます。
- 2 前年度に完成し、引き渡しを行った森林整備の最終契約額を記入して下さい。
- 3 本表には国、県、市町、(公社)兵庫みどり公社、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター（旧緑資源機構）が発注した森林整備工事の実績を記入して下さい。
- 4 契約額が大きい順に、5契約分を記入して下さい。
- 5 発注者は、国、県、市町、(公社)兵庫みどり公社、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター（旧緑資源機構）を記入して下さい。
- 6 業務の場所は市町名を記入して下さい。
- 7 主な業務内容は、地ごしらえ、植栽、下刈り、施肥（追肥を含む）、除伐、間伐、枝落とし、獣害防止柵、柵工、筋工などを記入して下さい。
- 8 契約年月日は、発注者との当初契約日を記入して下さい。
- 9 契約書（当初・変更）の写しと工事内容が確認できる書類（内訳表・明細表等）を添付して下さい。



- 1 林業技士とは、社団法人日本森林技術協会の定める林業技士の登録を受けた者をいいます。
- 2 技術士とは、技術士法の定める国家試験（技術士第二次試験）に合格し、技術士法第 32 条 1 項の定めによる登録を受けた者をいいます。
- 3 技術士補とは、技術士法に定める国家試験（技術士第一次試験）に合格し、技術士法第 32 条 2 項の定めによる登録を受けた者をいいます。
- 4 兵庫県林業作業士とは、兵庫県知事、財団法人兵庫県営林緑化労働基金（林業労働力確保支援センター）から林業作業士であると認定を受けた者をいいます。
- 5 兵庫県森林整備士とは、社団法人兵庫県林業会議、兵庫県森林組合連合会から森林整備士であると認定を受けた者をいいます。
- 6 フォレストワーカー(林業作業士)とは「研修終了者に係る登録制度の運用について」に基づき、所定の研修を修了した者で、林野庁に登録申請し登録証を通知された者をいいます。
- 7 フォレストリーダー(現場管理責任者)とは「研修終了者に係る登録制度の運用について」に基づき、所定の研修を修了した者で、林野庁に登録申請し登録証を通知された者をいいます。
- 8 フォレストマネージャー(総括現場管理責任者)とは「研修終了者に係る登録制度の運用について」に基づき、所定の研修を修了した者で、林野庁に登録申請し登録証を通知された者をいいます。
- 9 資格要件の森林整備業務に関する実務経験年数は、「兵庫県森林整備業務入札参加者選定要綱」第 2 章第 1 条に既定の「Aの整備内容」相当とし、次の実務経験を有する者とし、①5年以上とする場合は、『資格名』に修了した高等学校、林業大学校、大学で森林・林業に関する学科・科目を、②10年以上とする場合は『資格名』に「森林整備業務経験 10 年以上」と記載してください。

①5年以上：高等学校、林業大学校、大学で森林・林業に関する学科・科目を修了した者

②10年以上：上記①以外の者

10 管理技術者の各資格に対する人数は重複して記入できません。

(例) Aさんが林業技士と技術士補の両方を持って、どちらか一方の資格を選んで記入して下さい。

11 現場技術者の各資格に対する人数は重複して記入できません。

(例) Bさんが林業作業士と森林整備士の両方を持っていても、どちらか一方の資格を選んで記入して下さい。

12 管理技術者と現場技術者は重複して記入できます。

(例) Aさんが林業技士と技術士補の資格に加えて、林業作業士と森林整備士の資格を持っている場合、Aさんの名を管理技術者欄に記入した上で、現場技術者欄に林業作業士と森林

整備士のどちらか一方の資格を選んでAさんの名を再記入できます。

13 資格については、免許や認定等を証する書面の写しを添付して下さい。

14 現場技術者に相当する他府県等で取得した資格については、資格名欄にその資格名を記載すると共に、資格を取得した研修内容等がわかる書類を添付して下さい。

15 実務経験年数は、森林整備に従事した年数を記入して下さい。

16 常時雇用者に限ります。

17 記入する枠が足りない場合は、行を追加して記入して下さい。



- 1 林業技士とは、社団法人日本森林技術協会の定める林業技士の登録を受けた者をいいます。
- 2 技術士とは、技術士法の定める国家試験（技術士第二次試験）に合格し、技術士法第 32 条 1 項の定めによる登録を受けた者をいいます。
- 3 技術士補とは、技術士法に定める国家試験（技術士第一次試験）に合格し、技術士法第 32 条 2 項の定めによる登録を受けた者をいいます。
- 4 兵庫県林業作業士とは、兵庫県知事、財団法人兵庫県営林緑化労働基金（林業労働力確保支援センター）から林業作業士であると認定を受けた者をいいます。
- 5 兵庫県森林整備士とは、社団法人兵庫県林業会議、兵庫県森林組合連合会から森林整備士であると認定を受けた者をいいます。
- 6 フォレストワーカー(林業作業士)とは「研修終了者に係る登録制度の運用について」に基づき、所定の研修を修了した者で、林野庁に登録申請し登録証を通知された者をいいます。
- 7 フォレストリーダー(現場管理責任者)とは「研修終了者に係る登録制度の運用について」に基づき、所定の研修を修了した者で、林野庁に登録申請し登録証を通知された者をいいます。
- 8 フォレストマネージャー(総括現場管理責任者)とは「研修終了者に係る登録制度の運用について」に基づき、所定の研修を修了した者で、林野庁に登録申請し登録証を通知された者をいいます。
- 9 資格要件の森林整備業務に関する実務経験年数は、「兵庫県森林整備業務入札参加者選定要綱」第 2 章第 1 条に既定の「A の整備内容」相当とし、次の実務経験を有する者とし、① 5 年以上とする場合は、『資格名』に修了した高等学校、林業大学校、大学で森林・林業に関する学科・科目を、② 10 年以上とする場合は『資格名』に「森林整備業務経験 10 年以上」と記載してください。

① 5 年以上：高等学校、林業大学校、大学で森林・林業に関する学科・科目を修了した者

② 10 年以上：上記①以外の者

10 管理技術者の各資格に対する人数は重複して記入できません。

(例) A さんが林業技士と技術士補の両方を持って、どちらか一方の資格を選んで記入して下さい。

11 現場技術者の各資格に対する人数は重複して記入できません。

(例) B さんが林業作業士と森林整備士の両方を持っていても、どちらか一方の資格を選んで記入して下さい。

12 管理技術者と現場技術者は重複して記入できます。

(例) A さんが林業技士と技術士補の資格に加えて、林業作業士と森林整備士の資格を持っている場合、A さんの名を管理技術者欄に記入した上で、現場技術者欄に林業作業士と森林

整備士のどちらか一方の資格を選んでAさんの名を再記入できます。

13 資格については、免許や認定等を証する書面の写しを添付して下さい。

14 現場技術者に相当する他府県等で取得した資格については、資格名欄にその資格名を記載すると共に、資格を取得した研修内容等がわかる書類を添付して下さい。

15 実務経験年数は、森林整備に従事した年数を記入して下さい。

16 常時雇用者に限ります。

17 記入する枠が足りない場合は、行を追加して記入して下さい。

(2) 作業班の数

年間 60 日以上就業できる作業班数
2 班

- 1 作業員とは、現場で森林整備を実施するのに必要な技術を有する作業員をいい、作業班とは、その作業員で構成されるものとします。
- 2 作業班とは、1名の班長と2名以上の班員で構成されるものとします。
- 3 前年度の臨時的就業者数の実績を考慮して、今年度も年間 60 日以上就業が可能な作業班数を記入して下さい。
- 4 落札後、森林整備工事の契約前に、作業班の数と作業員の氏名（社会保険証、賃金台帳、雇用契約書、就業協定書のいずれか）を確認する場合がありますので、確実に年間 60 日以上就業可能な作業班数を記入して下さい。  
なお、雇用契約、就業協定については、森林整備工事の契約前に結ばれたものでなければいけません。

#### 4 退職金制度への加入状況

技術職員数	退職金制度加入者数
20	18

- 1 技術職員数には（管理技術者、現場技術者、作業員など）の保険加入対象者を記入して下さい。
- 2 退職金制度とは、林業退職金共済、中小企業退職金共済、建設業退職金共済、営林緑化労働基金、独自の退職金積み立て等をいいます。

森林整備に従事する管理技術者、現場技術者、作業員に対し退職金が支給される制度に加入しているか、加入していないかの調査です。  
退職金名は問いません。

## 5 安全管理の状況

### (1) 労働災害発生件数（前年度、前々年度）

単位：件数

年 区 分	森林整備	建設工事
前々年度	1	0
前年度	0	1
合計	1	1

- 1 休業4日以上の労働災害件数を記入して下さい。
- 2 前々年度、前年度とは、届出書の提出日が属する県の会計年度（4月1日～翌年3月31日）の直前の県の2会計年度をいいます。
- 3 建設工事（土木工事、建築工事等）で発生した労働災害も記入して下さい。

### (2) 施工、品質、安全管理の体制

資 格 種 別	人数（人）
1 級土木施工管理技士	3 人
2 級土木施工管理技士	1 人
1 級造園施工管理技士	2 人
計	6 人

- 1 施工、品質、安全管理等が出来る資格保持者を記入し、免許や認定等を証する書面の写しを添付して下さい。
- 2 施工、品質、安全管理等が出来る資格保持者とは、施工管理技士等（土木、建設機械、造園等）をいいます。
- 3 1人で複数の資格を有する場合は、資格種別の欄に該当する資格毎に記入してください。  
なお、前項3の(1)で記入していただいた、管理技術者、現場技術者に必要な資格要件（林業技士、森林整備士等）についての記入は必要ありません。



## 保険料納入告知額・領収済額通知書

あなたの本月分保険料額は下記のとおりです。

なお、納入告知書を指定の金融機関に送付しましたから、指定振替日(納付期限)前日までに口座残高の確認をお願いします。

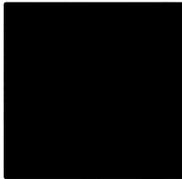
事業所管理記号	事業所番号	納付期限		
納付目的年月	年	月	日	日
健康勘定	厚生年金勘定	子ども・子育て支援勘定	子ども・子育て支援勘定	
健康保険料	厚生年金保険料	子ども・子育て拠出金	子ども・子育て拠出金	
合 計 額				円

下記の金額を指定の金融機関から口座振替により受領しました。

年	月	分	保険料	領収日	年	月	日
			健康勘定	厚生年金勘定	子ども・子育て支援勘定		
			健康保険料	厚生年金保険料	子ども・子育て拠出金		
合 計 額							円

年 月 日

蔵入徴収官



厚生労働省年金局事業管理課  
(日本年金機構) 年金課



様

(裏面へつづく)

### 社会保険料納入証明書

1. 申請者


2. 証明内容

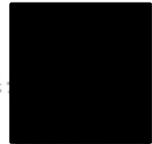
項目	対象期間	未納の有無

管掌区分	
------	--

上記のとおり相違ないことを証明します。

業者名と一致しているか確認

歳入徴収官  
厚生労働省年金局事業管理課





(注2)  
S C XXXX

事業所整理記号 99-XXXX  
事業所番号 健康保険・厚生年金保険資格取得確認および標準報酬決定通知書  
99999  
(注3)  
XXXXXXXXXXXXXX\*

被保険者整理番号	被保険者氏名 郵便番号	被保険者住所	生年月日 標準報酬月額	種別 (性別)	取得 区分	資格取得 年月日	基礎年金番号 被保険者区分
ZZZZZ9	XXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXX 999-XXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXX 健康：XXXXXXXXXX 厚生：XXXXXXXXXX	X99.99.99(注4) 健康：XXXXXXXXXX 厚生：XXXXXXXXXX	9XXXXX 厚年：XXXXXX	9XXXXX XXXXXX	X99.99.99 XXXXXX	9999-999999 XXXXXX(注5) XXXXXX
ZZZZZ2	XXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXX 999-XXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXX 健康：XXXXXXXXXX 厚生：XXXXXXXXXX	X99.99.99 健康：XXXXXXXXXX 厚生：XXXXXXXXXX	9XXXXX 厚年：XXXXXX	9XXXXX XXXXXX	X99.99.99 XXXXXX	9999-999999 XXXXXX XXXXXX
ZZZZZ2	XXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXX 999-XXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXX 健康：XXXXXXXXXX 厚生：XXXXXXXXXX	X99.99.99 健康：XXXXXXXXXX 厚生：XXXXXXXXXX	9XXXXX 厚年：XXXXXX	9XXXXX XXXXXX	X99.99.99 XXXXXX	9999-999999 XXXXXX XXXXXX
ZZZZZ2	XXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXX 999-XXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXX 健康：XXXXXXXXXX 厚生：XXXXXXXXXX	X99.99.99 健康：XXXXXXXXXX 厚生：XXXXXXXXXX	9XXXXX 厚年：XXXXXX	9XXXXX XXXXXX	X99.99.99 XXXXXX	9999-999999 XXXXXX XXXXXX
ZZZZZ2	XXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXX 999-XXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXX 健康：XXXXXXXXXX 厚生：XXXXXXXXXX	X99.99.99 健康：XXXXXXXXXX 厚生：XXXXXXXXXX	9XXXXX 厚年：XXXXXX	9XXXXX XXXXXX	X99.99.99 XXXXXX	9999-999999 XXXXXX XXXXXX
ZZZZZ2	XXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXX 999-XXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXX 健康：XXXXXXXXXX 厚生：XXXXXXXXXX	X99.99.99 健康：XXXXXXXXXX 厚生：XXXXXXXXXX	9XXXXX 厚年：XXXXXX	9XXXXX XXXXXX	X99.99.99 XXXXXX	9999-999999 XXXXXX XXXXXX

業者名と一致しているか確認

郵便番号 999-XXXX  
事業所住所 XXXXXXXX  
事業所名称 XXXXXXXX  
事業主氏名 XXXXXXXX

XXXX年Z9月Z9日  
上記のとおり資格取得の確認および標準報酬の決定がなされたので通知します。

(注1)  
日本年金機構理事長 (XXXXXX)







参考資料⑤-2 労働保険料等納入通知書(事業主控)／労働保険料等領収書(控え)

事務組合が雇用保険の手続きを行った場合

組様式第7号(甲) **労働保険料等納入通知書 (事業主控)**

労働保険 番号	府県	所 管	管 轄	基幹番号	枝番号
------------	----	--------	--------	------	-----

住所 \_\_\_\_\_  
委託事業主の氏名 \_\_\_\_\_ 殿

金 \_\_\_\_\_ 万 千 百 十 円

上記金額を労働保険料第 期分及び一般拠出金として平成 年 月 日までに当事務組合に納入してください。  
平成 年 月 日

所在地 \_\_\_\_\_  
労働保険の事務組合の名称 \_\_\_\_\_ 記名押印又は署名 印

算定方法

平成 年度 確定			平成 年度 概算		
賃金総額	料率	確定保険料	賃金総額	料率	概算保険料
労 災	千円 1,000	円	労 災	千円 1,000	円
特 別 加 入	1,000		特 別 加 入	1,000	
雇 用	1,000		雇 用	1,000	
合 計		①	合 計		⑥
申告済概算保険料			各期納付額		
差 引 額	尤 当 額	③(②-①)	全 期	⑦(⑥: 3)	円⑧(⑦-③)又は⑦+⑧) 円
	還 付 額	④(②-①)又は②-①-③)	第1期	⑨(⑥: 3)	⑩
	不 足 額	⑤(①-②)	第2期		
			第3期	⑪(⑥÷3)	⑫

(注) ※については、労災保険に係る賃金総額と同額を記入して下さい。ただし、平成19年3月31日以前に成立した有期事業は、一般拠出金算定対象とはなりませんので、当該有期事業分を差し引いた賃金総額を記入して下さい。

(29.1)

領収書と額が一致するか確認する

組様式第8号 **労働保険料等領収書(控)**

労働保険 番号	府県	所 管	管 轄	基幹番号	枝番号
------------	----	--------	--------	------	-----

住所 \_\_\_\_\_  
委託事業主の氏名 \_\_\_\_\_ 殿

金 \_\_\_\_\_ 万 千 百 十 円

上記の金額を受領しました。

種 別	納 入 金 額	備 考
概算保険料	⑦	
①+②+③		
労災保険料		
遺 留 金		
延 滞 金		
一般拠出金		
拠 出 金		
延 滞 金		
計		

領収年月日 平成 年 月 日  
労働保険事務組合の名称 \_\_\_\_\_ 所在地 \_\_\_\_\_ 記名押印又は署名 印  
代表者 \_\_\_\_\_ 印 (29.1)

分納した場合は、複数枚になる

参考

厚生労働省：労働保険適用事業場検索サイト

雇用保険の適用状況を確認することができるサイト [http://chosyu-web.mhlw.go.jp/LIC\\_D](http://chosyu-web.mhlw.go.jp/LIC_D)

## 労働保険適用事業場検索

外字については現在のところ表示されませんのでご了承ください。  
毎月末時点の情報を翌月第1開庁日に更新します。そのため、変更等の届出が検索結果に反映されるまで時間がかかる場合がありますのでご了承ください。また、毎月第1開庁日の午前9時から

都道府県（必須選択）	28 兵庫県
検索方法	<input checked="" type="radio"/> 漢字で検索する <input type="radio"/> カナで検索する
事業主名（全角入力）	<input type="text"/>
法人番号（半角数字入力）	<input type="text"/>
所在地（全角入力）	<input type="text"/>

(\*事業主名、法人番号、所在地のいずれか一つの項目に必ず入力してください。)

「労働保険適用事業場検索サイト」検索画面